

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
観光ビジネス実務総論 Introduction to Tourism Business		2年	前期	金曜日・2時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (観光ビジネス実務士必修科目)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
観光ビジネス実務演習・ホテル業概論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
観光学演習				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
伊藤 優子		講師室	金曜日	授業中に指示します
授業の概要				
産業としての裾野の広さのためか、近年、地域まちおこしの柱として観光関連産業が注目を浴びている。日本は観光立国宣言をして以降、訪日外国人旅行のみならず、日本人が行う国内観光旅行、海外観光旅行も対象に含めて、観光による地域おこしの基礎的知識を再確認し、日本の観光産業の専門的知識を習得する。				
授業の到達目標				
①観光産業全般について仕組みと仕事の役割と連携を理解することができるようにする。②観光産業界で役立つ専門的な知識を習得することができるようにする。③観光ビジネスにおいて実践的に社会に活かすことができるようにする。				
授業の方法				
講義形式・事例研究を取り入れて現在の問題を解決する能力の習得を図る。				
学習の成果				
①観光の基礎的知識を再確認することができる。②観光立国宣言をした日本の観光政策を学び課題を見つけ、これからの観光政策を考える能力を身につけることができる。③国内旅行および海外旅行の新しい観光を構築できる。④訪日外国人旅行に関して日本が目指すべき方向性を学ぶことができる。⑤世界遺産の知識を深めることができる。⑥交通運輸業界の現状を理解することができる。⑦ニューツーリズムについて学ぶことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	観光の意味と現代における観光の意義			
第2回目	グループワーク 人気の観光地			
第3回目	旅行業の仕事としくみ			
第4回目	交通運輸業			
第5回目	航空業界の現状（日本航空）			
第6回目	これからの航空業界			

第7回目	宿泊業の経営と実態	
第8回目	観光地と観光資源の種類	
第9回目	世界遺産の基礎	
第10回目	世界遺産の事例研究（平泉・石見銀山）	
第11回目	国内旅行の現状	
第12回目	海外旅行の現状	
第13回目	訪日外国人旅行の現状	
第14回目	訪日外国人旅行の事例研究（ニセコ）	
第15回目	まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業に集中し、ノートをとっている。不明なことがあれば積極的に質問する。指名されたら自分の意見を述べるなどが評価の対象となる。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	50%	観光の現状についての理解度を図る。旅行業界、交通運輸業界、宿泊業界、世界遺産、国内および海外旅行、訪日外国人旅行など全般について幅広い知識が求められる。
発表内容（態度含む）		
その他	20%	グループワークを実施する。積極的にディスカッションに参加し、グループで意見をまとめ現状を理解する。
教科書と参考図書		
観光概論（ジェイティービー能力開発）		
履修上の心得・ルール		
遅刻厳禁。私語はつつしむこと。授業途中で無断で退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁		